

第 30 回 沖縄県高等学校 1 年生バレーボール大会
抽選会および代表者会議資料

日時：令和 6 年 7 月 29 日（月）14：30
場所：県立小禄高等学校（視聴覚室）

1. 競技日程および会場

令和 6 年 8 月 12 日（月） 男子 1～3 回戦 女子 1・2 回戦
豊見城市民体育館 A・B・C・D・E
那覇市民体育館 F・G・H・I・J

令和 6 年 8 月 14 日（水） 男女 準々決勝戦～決勝戦
豊見城市民体育館 A・B・C・D

2. 開館および試合開始時刻

開館時刻 08：30、試合開始時刻 09：30

3. 参加チーム一覧

【男子】 北山 名商工 名護 石川 前原 読谷 美里 美来工 コザ 美工 球陽 北谷
普天間 宜野湾 西原 浦商 浦工 陽明 浦添 那工 那国際 興南 首里東
首里 沖工 沖尚 那商 那覇 小禄 那覇西 知念 豊見城 豊南 向陽 糸満
宮総実 八重山 男子 37 (30) チーム
【女子】 本部 名商工 名護 石川 具商 前原 具志川 与勝 読谷 嘉手納 美里
コザ 球陽 北中城 普天間 中商 西原 浦添 那国際 興南 首里 那覇
小禄 那覇西 知念 豊見城 向陽 糸満 女子 28 (23) チーム
計 65 (53) チーム
() 内は昨年度の数

4. シードチーム

中・北部、那覇・南部の各 1 年生大会の上位 4 チームをシードする。

前回優勝チーム（男子：西原 女子：知念）のいる地区を上位とする。

【男子】 ①美工 ②首里 ③西原 ④興南 ⑤名護 ⑥那国際 ⑦普天間 ⑧那工
【女子】 ①小禄 ②西原 ③知念 ④具商 ⑤那覇 ⑥中商 ⑦首里 ⑧前原

5. 抽選手順

- ① 第①～⑧シードを入れる
- ② 離島チームの予備抽選 ⇒ 位置抽選（初戦での離島チーム同士の対戦を避けるため）
- ③ 南のチームから予備抽選 ⇒ 位置抽選

6. その他

2024 年度競技日程等について

県 1 年生（南部地区） 8/12（月）・14（水）
春高予選（中部地区） 10/26（土）～ 28（月）・11/4（月）
定通秋季（宜野湾高校） 11/ 2（土）
県 新 人（八重山地区） 12/14（土）～ 17（火）
KBC 学園杯（中部地区） 1/25（土）～ 1/27（月）

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2024 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則および競技要項により実施する。
2. 試合はトーナメント方式で行い、全て 3 セットマッチとし、3 位決定戦は行わない。
3. 決勝戦以外の第 3 セットは、15 点制（リードするチームが 8 点に達したときにコートチェンジする）で行う。
4. コート設営は、両日とも第 1 試合のチームが 08：30 に入館して行う。
5. 監督またはコーチは、試合当日 08：50*より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。ただし、第 4 試合以降のチームについては、その限りではない。
* コート設営の状況により、代表者ミーティング開始時刻を遅らせる場合は、館内放送にて連絡する。
6. 開館および試合開始時刻は、「抽選会および代表者会議資料」に記載してある通りとする。全試合 60 分設定（試合開始時刻はホイッスル時間）で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームのコートアウト後*（試合が連続する場合は、コートアウト完了の 15 分後、3 試合連続の場合は、同 30 分後）、審判員の指示に従ってコートインし、10 分間（2 日目の第 2 試合は 20 分間）の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合のコートイン時刻は、試合開始時刻の 25 分前とする。
* 大会 2 日目の第 2 試合の両チームは、第 1 試合の補助員が終了したら、速やかに試合の準備をすること。
7. 大会使用球は、（公財）日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
男子：ミカサ（V300W） 女子：モルテン（V5M5000）
8. チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合は、リベロプレーヤーを必ず 2 名含むこと。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。
9. 選手のエントリー（18 名以内）およびベンチスタッフの変更は、「参加申込書」原本の提出により行い、当該チームの初戦開始 30 分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない。
10. チームは、各試合の「コンポジションシート」を、第 1 試合については、試合開始時刻の 30 分前までに、第 2 試合以降については、前試合の第 1 セット終了までに、エントリー委員に提出すること。ただし、試合が連続する場合は、前試合終了後に速やかに提出すること。また、各試合終了時に、ファーストまたはセカンドレフェリーより「コンポジションシート」を受け取り、試合毎に提出すること。
11. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時にセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。
12. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者で、マネージャーが生徒の場合、プロトコール時に、主審による所在確認を受けること。

13. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。
14. 公式ウォームアップ終了 15 分後になってもコートに来ないチームは棄権したものとする。
15. 補助員（記録・点示・ラインジャッジ）は 8 名とし、前試合の負けチームで行う。ただし*、大会 1 日目の第 1 試合については、当該コートの第 3 試合のチームで行い、大会 2 日目の第 1 試合については、当該コートの第 2 試合の両チームで行う。
* トーナメント表において、試合番号が○で囲まれている試合のチームで行うので、確認すること。
16. 準々決勝戦までのファーストおよびセカンドレフェリーは、補助員チームの生徒（原則として 2・3 年生）で行う。
17. 給水のためのタイムアウト（以下、「給水タイム」とする）を採用する。各セットにおいて、リードするチームが 13 点目に達した時、30 秒間の給水タイムを自動的に適用する。最終セット（第 3 セット）が 25 点制の場合は、チェンジコートをしたあとに適用する。また、両チームの得点が 30：30 となった場合は、特別に 2 回目の給水タイムを実施する。ただし、15 点制の場合は適用しない。
18. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。また、ジャージ（シャツ）は必ずショーツに入れなければならない。
19. 太鼓等*の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。
* 拡声器の使用は、試合への影響を考慮し、コートへ向けた使用は禁止とし、応援席側へ向けて使用すること。
20. チームから 2 名のクイックモップアーを配置することを認める。
21. 試合前の合同練習および公式練習は、監督・コーチ・マネージャー各 1 名およびコンポジションシートに記載された選手 14 名以内の選手で行うこと。ただし、チームからボール拾いを最大 4 名まで配置することができる。また、上記 20 のクイックモップアーもボール拾いを手伝うことができる。

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2024 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
2. チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とする。選手が 13 名以上の場合は、リベロを必ず 2 名含めることとする。
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2 人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。

5. 試合開始前、監督は選手の名前、番号を記録用紙のチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインをする。(チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。) また、チームキャプテンはトスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、スターティングラインアップを記入したラインアップシートを提出しなければならない。ラインアップシートは正しく記入され、サイン後、副審またはスコアラーに提出される。いったん提出されたラインアップは、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することは認められない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレーヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。(リベロはベンチで待機)
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの6名とリベロ2名の計8名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。その際ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為(相手に向かって“ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など)に対しては、競技規則第21条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。
11. 判定に対する質問ができるのは、ゲームキャプテンのみである。監督や他の競技者からの質問は受けつけない。(判定へのアピール等は警告の対象となります。)
12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図でセンターラインまで移動し、挨拶(握手)する。なお、監督とチームキャプテンは、審判員にも挨拶(握手)する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレーヤー自身がコートを拭くことを原則とする。
(チームで乾いたタオルを多く準備して下さい。スターティングプレーヤー全員がタオルを持つことが望ましい。)
14. 競技中の服装について
アンダーウェア等について(競技要項 P62 抜粋)
 - (1) アンダーウェアは、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から出てしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
 - (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
 - (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。
15. 1・2セットのみいずれかのチームが13点目を得た時に、審判は、給水のため30秒間のタイムアウトをチームに促す。(監督・コーチのもとに選手が集まらないように注意する。給水中は、生徒のマネージャーも選手と同様に給水をおこなう。)

総務からの連絡事項

大会総務委員長

1. 参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。
2. 各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。
3. 置き引き・盗難に注意して、貴重品はチームで責任をもって管理してください。
4. 各会場とも、ごみは各チーム責任を持って持ち帰りをお願いします。
5. 更衣室・ロッカーの占有は禁止です。チームの荷物を置きっぱなしにしないでください。
6. 体育館は土足厳禁となっています。外履き内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありません。他の人の出入りに迷惑が掛からないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は各自で靴の管理をお願いします。豊見城体育館に関しては、靴箱の利用もできませんので、各チーム、靴袋等を確実に準備してください。
7. 危険な場所で観戦しないで下さい。
8. 高校生の運転する車両での来場は禁止です。
9. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけて下さい。
10. 未登録の選手及び登録料未納の選手がいる場合、大会当日までに登録・支払いを済ませて、JVA チーム加入選手一覧表の差し替えをお願いします。

以上、チーム関係者への周知徹底をお願いします。

※ 沖縄県バレーボール協会 Web サイト (<https://www.oki-va.com>) に、随時大会に関する情報を掲載しておりますのでご活用下さい。